

31.4 FLEX NETWORK DIO ユニットに I/O を割り付けよう

31.4.1 FLEX NETWORK の機種設定

GP と接続する I/O ユニットが FLEX NETWORK の場合は、ユニット設定で使用する機種をします。
また、I/O ユニットの追加して複数台接続することもできます。

■ FLEX NETWORK DIO ユニットの機種と占有局数

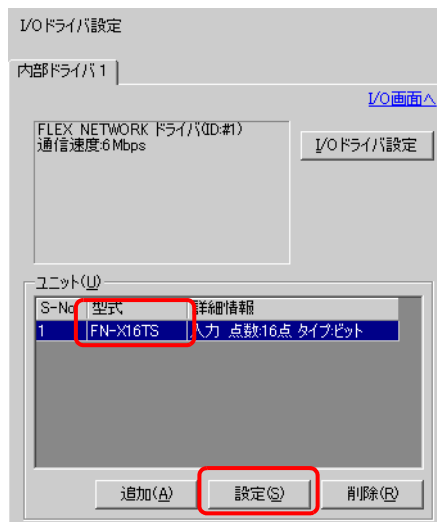
FLEX NETWORK DIO ユニットの型式と点数、および占有局数を次に示します。

例えば、入力 32 点、出力 32 点（総数 64 点）の I/O ユニットを使用した場合は、S-No.1 に設定すると、S-No.1 ～ 4 まで使用されます。

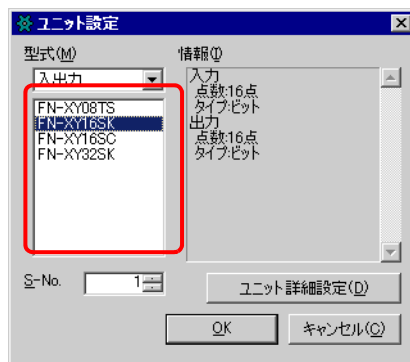
種類	型式	点数	占有局数
DIO	FN-X16TS	入力 16 点	1 局
	FN-X32TS	入力 32 点	2 局
	FN-Y08RL	出力 8 点	1 局
	FN-Y16SK	出力 16 点	1 局
	FN-Y16SC	出力 16 点	1 局
	FN-XY08TS	入力 8 点 出力 8 点	1 局
	FN-XY16SK	入力 16 点 出力 16 点	1 局
	FN-XY16SC	入力 16 点 出力 16 点	1 局
	FN-XY32SK	入力 32 点 出力 32 点	4 局

■ 設定手順

- 1 現在設定されている I/O ユニットを選択し、[設定] をクリックします。



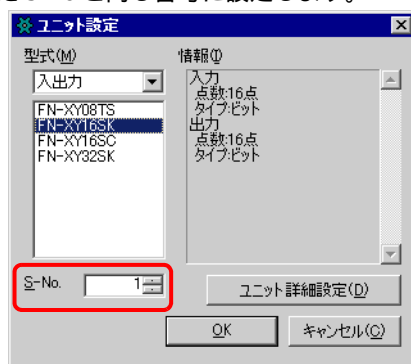
- 2 [ユニット設定] のダイアログボックスが表示されます。機種を変更するときは、I/O ユニットの [型式] を選択します。(例：種類 [入出力]、型式「FN-XY16SK」)



MEMO

- ・ 左上のメニューから I/O ユニットの種類を選択できます。
- ・ 右側には選択した I/O ユニットの仕様の詳細が表示されます。

3 DIO ユニット本体で設定した S-No と同じ番号に設定します。



MEMO

- S-No は 1 ～ 63 まで設定できます。ただし、同一の FLEX NETWORK 内で S-No を重複させることはできません。

☞ 「**■ FLEX NETWORK DIO ユニットの機種と占有局数**」(31-16 ページ)

4 I/O ユニットの詳細を変更するときは、[ユニット詳細設定] をクリックします。

5 [ユニット詳細設定] ダイアログボックスが表示されます。設定を変更し、[OK] をクリックします。

MEMO

- ユニット詳細設定については、次を参照してください。

☞ 「31.4.3 FLEX NETWORK DIO ユニットの設定ガイド **■ ユニット詳細設定**」(31-22 ページ)

6 [ユニット設定] ダイアログボックスで [OK] をクリックすると、変更した内容が反映されます。

S-No	型式	詳細情報
1	FN-XY16SK	入力 点数:16点 タイプ:ビット出

7 I/O ユニットを追加する場合は、[追加] をクリックします。表示された [ユニット設定] ダイアログボックスで手順 2 ～ 6 と同様に設定します。

MEMO

- 他の種類を追加する場合は、それぞれの説明を参照してください。

☞ 「31.5 FLEX NETWORK アナログユニットに I/O を割り付けよう」(31-23 ページ)

☞ 「31.6 FLEX NETWORK 位置決めユニットに I/O を割り付けよう」(31-30 ページ)

☞ 「31.7 FLEX NETWORK 高速カウンタユニットに I/O を割り付けよう」(31-35 ページ)

8 FLEX NETWORK の機種設定が完了したら、I/O 端子にアドレスを割り付けます。

MEMO

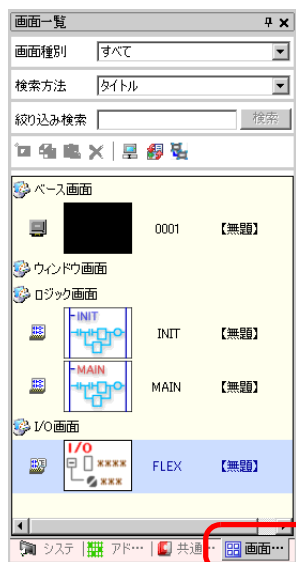
☞ 「31.4.2 FLEX NETWORK DIO ユニットの I/O 端子について」(31-19 ページ)

31.4.2 FLEX NETWORK DIO ユニットの I/O 端子について

I/O 画面を表示し、FLEX NETWORK DIO ユニットの I/O 端子にアドレスを割り付けます。

■ I/O 画面の表示方法

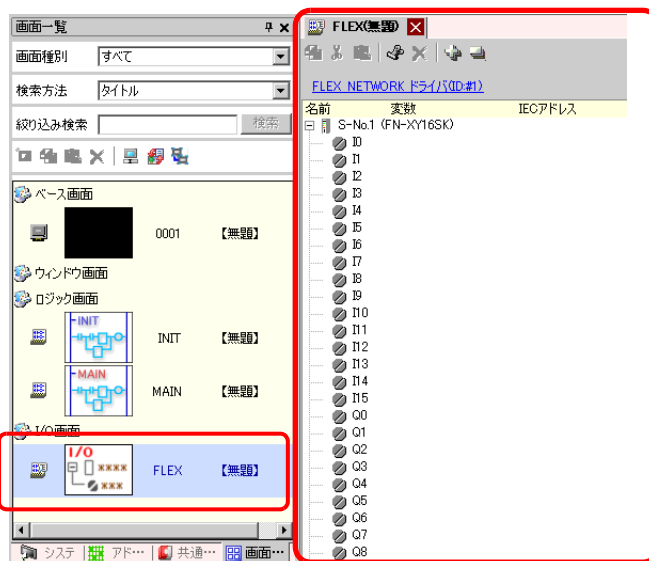
1 [画面一覧] ウィンドウのタブを選択して [画面一覧] ウィンドウを開きます。



MEMO

- ワークスペースに [画面一覧] タブが表示されていない場合は、[表示 (V)] メニューから [ワークスペース (W)] を選択し、[画面一覧ウィンドウ (G)] を選択します。

2 [I/O 画面] をダブルクリックすると、編集画面に I/O 画面が表示されます。



MEMO

- I/O 端子にアドレスを割り付ける方法については次を参照してください。
 「31.1.2 設定した各 I/O 端子にアドレスを割り付ける方法」(31-6 ページ)

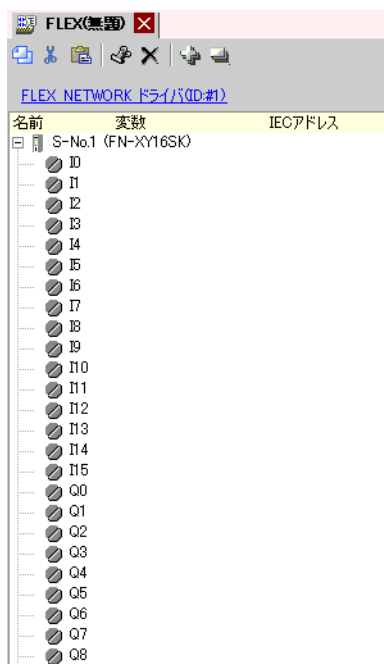
■ I/O 端子の動作

アドレスを割り付けた I/O 端子は、次のような動作をします。

- 入力端子が ON すると、端子に割り付けたアドレスが ON します。
- 出力端子に割り付けたアドレスを ON すると、端子から出力します。
- I/O ユニットに電断が発生した場合、ドライバは I/O ユニットの電断を認識し、電源が再投入されると通信を再開することができます。

31.4.3 FLEX NETWORK DIO ユニットの設定ガイド

■ I/O 画面



設定項目		設定内容
コピー		変数を選択してクリックすると、コピーできます。
切り取り		変数を選択してクリックすると、切り取りできます。
貼り付け		コピーや切り取りでクリップボードにコピーされた変数を貼り付けできます。
編集		変数を選択してクリックすると、変更や新規登録できます。
削除		変数を選択してクリックすると、削除できます。
全て開く		すべての I/O 端子を展開し、表示します。
全て閉じる		すべての I/O 端子を縮小し、非表示にします。
FLEX NETWORK ドライバ (ID:#1)		クリックすると、I/O ドライバ設定画面に切り替わります。
名前		端子の ID 記号が表示されます。
変数		端子に割り付けられたアドレスが表示されます。
IEC アドレス		I/O アドレス (IEC アドレス) が表示されます。

■ ユニット詳細設定



入出力 32 点（FN-XY32SK）

設定項目	設定内容
入力	入力の変数タイプを [ビット] または [整数] から選択します。 点数 8/16/32 点は I/O ユニットの種類により異なります。 初期設定は [ビット] に設定されています。
出力	出力の変数タイプを [ビット] または [整数] から選択します。 点数 8/16/32 点は I/O ユニットの種類により異なります。 初期設定は [ビット] に設定されています。